2025 年 3 月 13 日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

（2025 年 3 月 13 日）

（本件に関するお問い合わせ先）
日本銀行北九州支店　Tel 093-541-9112
当資料は当店ホームページにも掲載しています。
（https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html）

１．総論

北九州・京築地区の経済は、緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、増加している。輸出は、下げ止まりつつある。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、弱めの動きとなっている。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目		前回	今回
景気判断		緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。	緩やかに回復しているものの、回復のペースは鈍化している。
需要項目	公共投資	増加している。	増加している。
	輸出	下げ止まりつつある。	下げ止まりつつある。
	設備投資	増加している。	増加している。
	個人消費	物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。	物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
生産		弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
雇用		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

２．需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、下げ止まりつつある。

設備投資は、増加している。

12 月短観をみると、2024 年度の設備投資計画は、前年を上回っている。製造業を中心に、高水準の企業収益を背景として、能力増強投資を行う先が目立つほか、環境関連投資を行う先もみられている。

個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、緩やかな増加基調にある。

飲食や旅行・観光関連のサービス消費は増加しているほか、高額品の販売も緩やかに増加している。食料・日用品の販売は、物価上昇を受けた消費者の生活防衛的な動きがみられつつも、底堅く推移している。乗用車販売は、持ち直している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

３．生産

生産は、弱めの動きとなっている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	横ばい圏内で推移している。
	電炉	弱めの動きとなっている。
化学		弱めの動きとなっている。
セメント		弱めの動きとなっている。
住設機器		緩やかに増加している。
電気機械		横ばい圏内で推移している。
電子部品		横ばい圏内で推移している。
自動車		下げ止まりつつある。

４．雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

５．物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、＋４％程度となっている。

６．企業倒産

企業倒産をみると、低水準ながらも増加している。

７．金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以　上